

佐藤 佳邦 (電力中央研究所上席研究員) 著

電力自由化と法

— 競争と多様な政策の実現 —

A5変・並力・370頁 6,600円(税込) ISBN978-4-7972-8268-9 C3332

本書は、1980年代から徐々にすすめられてきた競争法原理の導入は何をもたらすか。近年のIP自由化、小売の全面自由化から、再生エネルギーの普及・ネットワーク部門の法的分離・規制・安全確保・多様な電源確保の課題と消費者保護等や政策の実現に向けて、経済法(独禁法)やエネルギー法の観点から検証しております。

【目次】

第I部 電力産業への市場メカニズムの導入と公正競争確保の課題◇

第I部 序論

電気事業の各種バリューチェーンと市場支配力

第I部の構成

- 第1章 米国の発電事業への競争導入と市場支配力のコントロール
第2章 EUにおける電力長期契約の規制と投資インセンティブの確保
第3章 ベースロード市場をめぐる独禁法の課題
第4章 EUの電力・ガス市場における合併審査事例の検討

第I部の小括

第I部の小括と課題

第II部 多様な電源確保と競争中立性の両立をめぐる法・政策◇

第II部 序論

低炭素電源普及策の課題

低炭素電源普及策における競争政策的視点

第II部の構成

- 第5章 再エネFITと競争の調和(1):米国における買取価格をめぐる法
第6章 再エネFITと競争の調和(2):送電線オープンアクセスの問題
第7章 再エネFITと競争の調和(3):EUの再エネFITと競争政策
第8章 EUの原子力バックエンド事業に対する国家補助規則による規律

第II部の小括

第II部の小括と課題

第III部 エネルギー事業における消費者保護と事業規制機関をめぐる課題◇

第III部 序論

第9章 競争環境における電力のユニバーサル・サービス確保と法的課題

第10章 電力・ガスの小売自由化に伴うセット販売と独禁法の規制

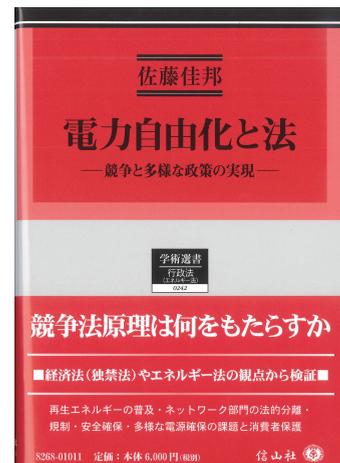
第11章 エネルギー規制当局と競争当局の適切な役割分担について

第12章 米国の原子力規制における行政審判制度の役割

第III部の小括

第III部の小括と課題

終章「本書の結論と残された課題」



競争法原理は何をもたらすか

■経済法(独禁法)やエネルギー法の観点から検証■

再生エネルギーの普及・ネットワーク部門の法的分離・
規制・安全確保・多様な電源確保の課題と消費者保護

S268-01011 定価:本体6,000円(税別)

信山社

刊行:2024年3月15日

〒113-0033 東京都文京区本郷6-2-9-102 東大正門前
TEL:03(3818)1019 FAX:03(3811)3580 E-mail:order@shinzansha.co.jp



信山社

http://www.shinzansha.co.jp